

## 屋久島町エコツーリズム推進協議会第1回ウミガメ保護利用専門部会 開催記録（要旨）

日 時：令和元年12月11日（水）19時～21時

場 所：屋久島町役場2階会議室

開会、部会員委嘱ののち、屋久島町観光まちづくり課竹ノ内課長より挨拶、「12月5日に開かれた屋久島町エコツーリズム推進協議会全体構想策定部会において、当部会で屋久島のウミガメの保護と利用について検討することの承認が得られた。屋久島町全体として統一的な見解を持ちたいと考えている」などの説明が行われ、協議に移った。

### 議事

#### 1. 屋久島町エコツーリズム推進協議会による屋久島のウミガメの保護と利用について

- ・本会議の進め方、屋久島町エコツーリズム推進全体構想と各浜でのウミガメのエコツーリズムの考え方、特定自然観光資源、検討スケジュールについて事務局より資料説明し、質疑応答が行われた。
- ・「ウミガメの保護と持続的利用、地域への還元のため、法律に基づくルールのもとでの観察会を目指し、観察ルールや運営体制の検討と並行して、ホームページやルールガイドの改定を行う。永田浜では令和2年4月、5月以降にルールを試行。9月にその結果を評価し、エコツーリズム全体構想に反映させる。エコツーリズム推進協議会の臨時総会で構想案を確定、12月に条例を提案し、1月から国への認定申請に入る予定。栗生浜と中間浜は地域の事情にそってそれぞれに検討し、必要に応じて追って構想に反映」との予定であることなどが確認された。

#### 2. 各浜の現状について

- ・中間浜は、集落の活動として保護監視を中心に活動をしてきたが、観光対応には制約が多い。
- ・栗生浜は、集落としては観光対応が必要と考える。協力金の仕組み、観察ルールはあるが、もっときちんとした形のものの方がよい。
- ・栗生浜では、ガイドがウミガメ観察を自分のプログラムの一つとして利用している。集落などが行う観察会があると送迎のみとなり、ガイドとして存在意義が疑われる。
- ・永田浜では、観察会の運営や体制について事務局と調整してきた。観察会は継続していきたい。観察会参加者から観察料（参加費）はいただけないので、協力金として収受しているが半強制的であるし、根拠があいまい。地元には法律が適用されると浜に入れなくなるとの反発もあり、納得してもらう必要がある。住民・町民、ガイドの皆さんの理解が必要であり、きっちり説明して意見を聞きたい。
- ・ガイドからみて、屋久島として統一した見せ方があるべき。保全と適正な利用実現のため認定ガイドが手伝いに行くこともあり得る。

#### 3. 部会長の決定

- ・部会長は部会員の互選とすることとし、永田区ウミガメ連絡協議会代表の計屋圭宏氏が選出された。

#### 4. その他

・開催時間、開催場所について意見交換が行われた。

(以上)